

関係各位

令和8年6月10日

日本中央バス株式会社
代表取締役 戸塚博恵

当社路線バスにおける点呼及びアルコールチェック未実施事案について

このたび、前橋市から運行を受託している当社路線バスにおいて、乗務前の点呼及びアルコールチェックが実施されないまま運行が行われ、その後の確認においてアルコールが検知される事案が発生いたしました。

ご利用のお客様、地域の皆様、委託元である前橋市をはじめ関係者の皆様に、多大なるご不安とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

現在、関係機関の調査及び監査に協力するとともに、原因の究明と再発防止に取り組んでおります。

公共交通機関として安全確保を最優先とすべき立場にありながら、このような事案を発生させましたことにつきまして、ご利用のお客様、地域の皆様、関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

1. 事案の概要

本件は、当社が運行する川曲線の新前橋駅発午前7時10分便（新前橋駅～群馬医療福祉大学前間）及び群馬医療福祉大学前発午前7時30分便（群馬医療福祉大学前～新前橋駅間）において発生したものです。

令和8年5月18日、当社路線バス乗務員が、乗務前の点呼及びアルコールチェックを受けないまま乗務を開始いたしました。

その後、運行開始後の確認において、当該乗務員が点呼及びアルコールチェックを受けずに乗務していたことが判明したため、直ちに呼気検査を実施したところアルコールが検知されました。このため、当該乗務員の乗務を中止し、別の乗務員へ交替のうえ運行を継続いたしました。

当該運行において事故やお客様の負傷等は発生しておりません。

2. お客様への対応

現在までに、本件に起因する事故や健康被害等の通報は確認されておりません。

しかしながら、お客様をはじめ地域の皆様、関係者の皆様に多大なご不安とご心配をおかけしたことを重く受け止めております。

本件につきましては、関係機関と連携し対応しております。

3. 当社の対応

当社は本件を極めて重大な安全管理上及びコンプライアンス上の問題と認識しております。

再発防止策として、

- ・ 出勤時にアルコールチェックを実施し、確認後に車両の鍵を交付する運用への見直し
- ・ 点呼業務における管理監督体制の強化
- ・ 全乗務員及び管理者に対する安全教育の再徹底
- ・ 飲酒管理に関する指導及び安全意識向上施策の強化

を実施しております。

当社は今回の事態を厳粛に受け止め、安全運行の確保と信頼回復に全力で取り組んでまいります。

以上